

ま な び

～MANABI 発信！～

成長を支えてくれた方への感謝と 自信をもって次のステージに

令和6年度は、どんな一年だったでしょうか。嬉しかったこと、楽しかったこと、大変だったこと、様々なことがあったかと思います。それら多くの経験が、きっと皆さんの成長に繋がっていると思います。また、皆さんの成長を周りで支えてくれた方への感謝の気持ちも大切にしてくださいね。

今は、新生活に向けて、期待と不安でいっぱいのことと思います。
「備えあれば憂いなし」ということわざもあるように、準備をしっかりとしておけば気持ちも整い、自信をもって新年度に向かうこともできると思います。何事においても「準備」が大切です。

皆さんの、新しいステージでの活躍を心から願っています。



「第6回おしごとフェスタ in 大和郡山」が開催されました！

三の丸中央公民館で、3月2日（日）に「第6回おしごとフェスタin大和郡山」が開催されました。

おしごとフェスタとは、昭和工業団地を中心に様々な企業が、子どもたちに仕事を体験してもらい、面白さを知ってもらおうと始まったもので、今年で6回目を迎えました。

今年も多くの子どもたちが参加し、ドローン体験や、お札の数え方、フォークリフトの運転など、いろんな職種に関わる仕事について、楽しみながら体験していました。気になる仕事はあったかな？



「ミニチュアのお風呂づくり」
(株) 奈良積水



「ランタンづくり」
(株) パナソニック



「ドローンで運搬チャレンジ」
(株) 川端運輸

「第20回市町村対抗子ども駅伝大会」が開催されました！

橿原運動公園で、3月8日（土）に「第20回市町村対抗子ども駅伝大会～かけぬけろ タスキでつないだ絆と共に！～」が開催されました。

大和郡山市からは、市内小学校の5・6年生8名が参加し、寒空の中、精一杯力をふりしぼり、タスキを繋ぎながら走りきってくれました。

大会後、鍵本監督は「子どもたちは最後まであきらめず本当によくがんばってくれました。」と子どもたちの勇姿を称えていました。

選手の皆さん、本当によくがんばったね！！



大和郡山市地域クラブ活動についてのお知らせ

令和8年4月から、休日における教員の部活動指導はなくなります。休日は地域クラブに移行します。

- 目的は、①生徒数減少に伴う部活動の在り方の見直しと、生徒が専門的な指導を受けられる機会の提供
②教員の働き方改革や競技経験のない顧問への対応（教員の働き方改革）
③地域でスポーツや芸術に継続的に親しむことのできる新たな環境づくり

現在は、ソフトテニス・卓球・ラグビー・バスケットボール・水泳・ハンドボール・バドミントン・サッカー・コーラスの9種目13会場にて活動しています。

令和7年度は、新たに硬式テニス・野球・ソフトボール・剣道の4種目の地域クラブをスタートします。



秀長さん Quiz !! 豊臣秀長と大和郡山のかかわりについて、クイズ形式でちょっと紹介します。



豊臣秀長は、郡山の街を大きく発展させるために、大和（当時の奈良）のあちこちにあるお寺や神社を郡山に集めました。洞泉寺町にある「源九郎稲荷神社」もその中の一つです。

源九郎稲荷神社には、昔から伝わる「白●おどり」があり、今では、市内の小学生も体験しています。



近くに来たらぜひ寄ってコンッ！

（問）源九郎稲荷神社に伝わる「白●おどり」。●にはある動物が入りますが、その動物とは一体何でしょう？

- 【1】きつね（狐） 【2】たぬき（狸） 【3】うさぎ（兎）

（ヒント）稲荷（いなり）と言えば、

正解は、3ページ目の最後をご覧ください。

給食の献立を紹介！（学校給食事務所）

給食センターでは、毎日、安心安全でおいしい、栄養もしっかりとれる給食づくりに取り組んでいます。献立や食に関する内容をお伝えしていきます。

<小学校> 2月3日の献立です。



ごはん
牛乳
いわしのカリカリフライ
はくさいのサラダ
にゅうめん汁
節分豆

2月3日は、小・中学校ともに、節分メニューを提供しました。厄払いの意味もある「いわし」は、骨ごと食べられるフライで提供しました。学校給食から日本行事を知ってほしいとの願いをこめています。

<中学校> 2月13日の献立です。



ナン
牛乳
チキンナゲット
やさしいサラダ
キーマカレー

中学校では、生徒たちに大人気のナンとキーマカレーが登場しました。「おいしかった！」という声もたくさん聞くことができましたよ。

図書館からのおすすめの1冊（大和郡山市立図書館）

『絶滅危惧動作図鑑』（分類049） 藪本 晶子／著 祥伝社

昔はよくやっていたけど、最近はやらなくなったような、時代とともに消えていきそうな「動作」をイラストにした本です。使っている道具はいっさい描かれず、動作をしている人しか描かれていないのですが、その「動作」を経験したことのある人なら、思わずニヤリとしてしまうユーモラスさを感じます。

取り上げられた動作には、著者の主観がかなり反映されているので、「この動作はまだやってる」とか、「この動作は子どもの頃にやってた」とか、ツッコミを入れながら読みたくなります。



図書館だよりでも紹介しておりますので、ご覧ください。

【教育委員会だよりについてのお問い合わせ】

学校教育課 TEL:0743-53-1151(代) (内線723)

子どもたちの姿をちょっと紹介

幼稚園・小学校・中学校に通う子どもたちの姿を紹介していきます。詳しくは各校園のホームページをご覧ください。3月号は矢田南幼稚園・治道小学校の取組の様子です。

矢田南幼稚園

～“チョウにきてほしい”子どもの願いから育まれた科学する心～

遊びの森があり、奈良っ子はぐくみ自然保育認証施設である矢田南幼稚園。人生の土台となる幼児期に自然と共に暮らすことを通して、子どもたちの豊かな原体験が生涯にわたる原風景になればと願っています。

昨年度、「チョウに来てほしい」との願いから、友達と考えを出し合い、チョウを呼び寄せる仕掛けを作った子どもたち。毛糸のボンボンにつける液体を調べ、昆虫館に聞き、試行錯誤を繰り返しました。この取組は、今年度のバタフライガーデンでのナミアゲハの幼虫との関わりへとつながりました。たくさんの命が生まれ、育っていくはずだったバタフライガーデン。しかし、自然は思うようにいかないことだらけでした。それでも、小さな命を大切に思い守ろうとした子どもたち。幼虫との暮らしの中で見えてきたことをソニー教育財団「科学する心」実践論文にまとめて応募したところ、「優秀園」に選ばれました。

今、たくさんのチョウの食草を植え、春を待っています。

矢田南幼稚園 園長 大内 菜恵子



幼虫はどうなった？幼虫を守るには？考えを出し合い対話する子どもたち



バタフライガーデンのミカンの木にいるナミアゲハの幼虫「写真を撮ろう」



論文「つなげて つながる 命との出会い」・賞状・あおむし日記を手に記念撮影



論文は矢田南幼稚園HPからソニー教育財団ウェブサイトにとびます

治道小学校

～ふるさとの土に根をはり、今日を素直に生きていくはるみちっ子～

治道小学校は、奈良県有数の農業地帯の中にあり、緑のじゅうたんを敷きつめたような大和平野にぽつんと建っている学び舎です。

本校では、ふるさとの土に根をはり今日を素直に生きていくはるみちっ子、自分に自信をもって自立的に生きるはるみちっ子を育てるため、地域の教育力を生かした取組を行っています。治道元気プログラムと名付けた活動では、公民館クラブの方々や地域の方々と交流し新しい出会いと多様な経験を積ませていただいています。今年度も陶芸教室や三味線クラブ、ヒョウタン作り、田植えや稲刈り体験などの活動を行いました。人口の減少が続いている地域ですが、地域の皆さんに支えられながら故郷に生きる子どもたちを育てていけたらと思っています。

治道小学校 校長 森田 徹



秀長さんQuiz 正解 【1】 きつね（狐）

源九郎稲荷神社に伝わる「白狐おどり」は昭和初期に始まったと言われています。きつねのお面をつけて、白狐囃子（びゃっこばやし）のリズムに合わせて、手拍子をたたいて踊ります。春のお城まつりでも、よく白狐おどりが披露されています。